

## 設定の理由

園で飼育している亀の「かめきち」の世話を引き継いだ年長児が、「かめきち」との関わりを通して、生き物を育てる楽しさや命の大切さ、身近にいる生き物との愛着関係をさらに深め、本園の強みである園庭や自然環境を活かして取り組んでみたいと考えた。

## 対象年齢 5歳児クラス

### 活動① ～かめきちのお世話～

## 活動のねらい

当番活動の中で友達と協力し、活動する楽しさや、生き物に対して思いやりの心をもつ

●用意した環境(準備した物) たわし、かめの餌

### ●活動内容

- ・ たらいをたわしで洗い、新しい水に替える。
- ・ たらいを洗う担当、かめきちの様子を見守る担当に分かれ、活動を行う。

### ●子どもたちの様子

- ・ 掃除をしながらかめの餌が残っていないことに気づき「今日は、全部食べた」という会話をしていた。
- ・ 様子を見守りながら、「どこまで歩くかな?」「段差は登るのかな?」「爪が長いね。」と、かめきちに関心を深めていた。

### ●保育者の振り返りと気づき

世話をしながら、かめの動きや体のつくりなど、生態に関心をもち始めている。友達と情報を共有しながら当番活動を楽しんでいた。



## 活動② ～かめきちクイズ～

### 活動のねらい

身近な生き物に興味や関心をもつ

●用意した環境(準備した物) かめの写真、かめの絵本、色画用紙、ペン

### ●活動内容

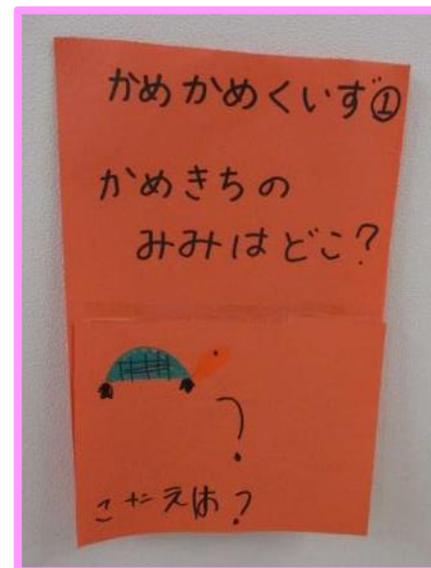
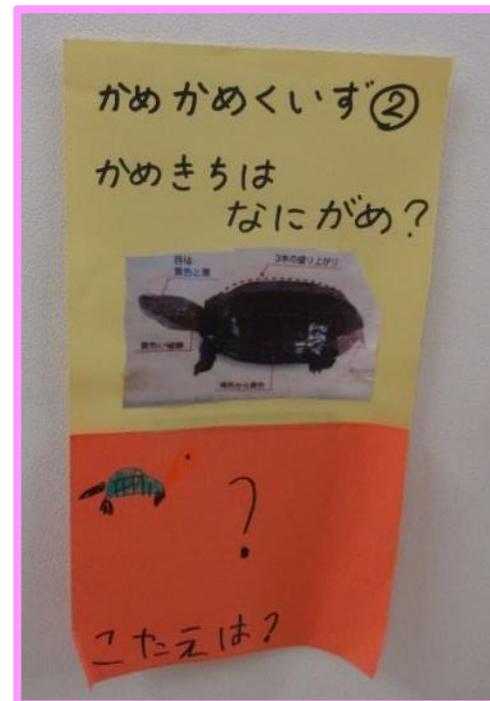
- ・ 図鑑やかめの絵本を見ながら友達とクイズを考える
- ・ 色画用紙にクイズやかめきちの絵を描き、廊下に貼る

### ●子どもたちの様子

- ・ かめの世話をしながら「かめきちの耳はどこにあるんだろう？」というつぶやきがあった。そこから友達と一緒に図鑑を見て調べ始めていた。調べたことをクイズにして、みんなに知らせたいという思いからクイズ作りが始まっていた。
- ・ クイズができると「紙に描きたい」「みんなの前で言いたい」と、どんどん発想が広がった。

### ●保育者の振り返りと気づき

子どもたちがやりたいタイミングに合わせて図鑑や画用紙を出したことで友達と発見を共有し、活動を楽しみながら進めていた。



## 活動③ ～かめきちハウス完成～

### 活動のねらい

新しい飼育環境でのかめきちの様子や変化に気づく

●用意した環境 かめきちハウス(ビオトープ)

●活動内容

新しくできたかめきちハウスの完成を祝い、かめきちの様子を観察する

●子どもたちの様子

ハウス内に入り、ビオトープの中を興味津々で見ている。かめきちがしばらく動かない様子を見て「新しいお家にまだ慣れないのかな?」と心配していた。動き始めると「がんばれ」と、口々に応援していた。

●保育者の振り返りと気づき

新しい飼育環境に慣れない様子を心配していて、思いやりの気持ちが芽生えていることに嬉しさを感じた。長い時間眺めている子もいたので座って眺める椅子を入れ、居心地の良い空間にしていきたい。



## 活動④ ～かめきちの健康観察～

### 活動のねらい

当番活動の中で、かめきちを観察し、変化に気づく

●用意した環境(準備した物) 計量器、かめきち健康表

●活動内容

かめきち当番をしながら、健康観察をする

観察内容: 餌の食べ具合、歩き方、爪の長さ、重さ

●子どもたちの様子

・新しい家から何度か逃げ出したかめきちの様子を心配していたので元気かどうか毎日観察しようと提案すると、「やりたい」「いつやる?」と意欲的であった。餌の個数を書くことで「食べてないから、餌3個がいいんじゃないかな・・・」「食べないから冬眠するかも」と、気づきを共有しあっていた。

・計量することや日記の記入が楽しみで、友達と相談しながら書いている

●保育者の振り返りと気づき

健康表や計量器など、普段使わない物を取り入れてたことで、保育者の予想以上に活動を楽しめていた。変化や気づきも発表できる場があると良いのではないかな。

